

# SmartLife

-スマートライフ-

加古川市立加古川中学校  
エネルギー教育モデル校通信

No. 13

2015/11/30

## 副教材を読んでもみましょう！

みなさんは、10月に配布したエネルギー教育モデル校の副教材「わたしたちのくらしとエネルギー」を少しでも読みましたか。エネルギーに関する多くの情報が載っているので、時間のある時に、ぜひ、読んでみましょう。

さて、先日、1年生の理科と社会科の授業で、副教材を題材にしたエネルギーに関する授業が行われました。

理科では、副教材の資料と手回し発電機の実験をとおして、発電のしくみを学びました。

社会科では、副教材の資料と帯グラフの作成をとおして、日本と6つの国の電源構成を比較しました。

どちらの授業も、1年生には少し難しいところもあったようですが、とても熱心に授業を受けていました。

授業の中で、はじめて副教材を読んだ生徒も多く、他のページにも関心を持ったようです。1年生は、1月に「大阪ガス科学館」の見学があります。事前の準備として、副教材を読んでおきたいものです。ぜひ、挑戦してください。



## モデル校アンケートについて

10月に全校生対象に実施した、エネルギー教育モデル校アンケートへの記入ありがとうございました。昨年度同様、その結果を、今月から何回かに分けてこの通信で紹介します。今回は、エネルギー自給率について報告します。

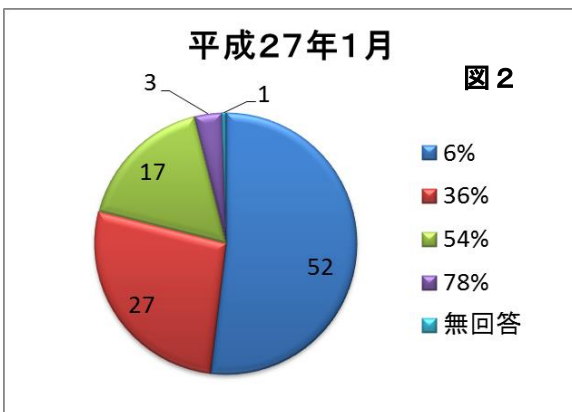
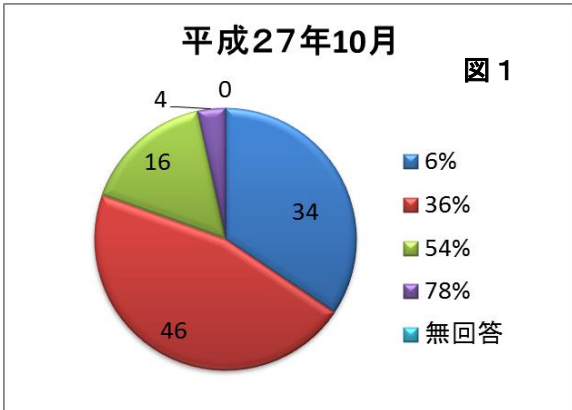
# 日本のエネルギー自給率 6%

今回のアンケートでは、図1のような結果となりました。多くの生徒が、日本のエネルギー自給率は、36%以上だと思っているようです。しかし、正解は6%です。

日本のエネルギーは、その94%を、外国からの輸入に頼っているのです。

2・3年生には、何度も紹介してきたのですが、全校生で正解者が3割少ししかないというのは残念です。

図2は、今年1月のアンケートの結果です。正解者が全校生の半数以上でしたので、昨年度を知らない1年生が加わったとはいえ、かなり正解率が下がったこととなります。エネルギーを学習するうえで、現状を知っておくことは大切なことです。日本のエネルギー自給率は6%と、ぜひ、覚えておきましょう。



さて、図3にあるように、日本のエネルギー自給率は、諸外国に比べ、かなり低いことがわかります。私たちの生活には、エネルギーはなくてはならないものとなっています。この自給率のままなら、どうすればよいのか。上げる方法はあるのか。そうしたことを、これから学習していきましょう！

## ●日本と世界の主な国のエネルギー自給率(2012年) 図3

